

三重の天然記念物①

# 多度のイヌナシ自生地

今年度の「環境学習みえ」では、三重県内で指定されている「天然記念物」を特集します。今回は、平成22年度に国指定天然記念物にも指定された桑名市の「多度のイヌナシ自生地」をご紹介します。



お話を伺った人

葛山 博次さん

- ・イヌナシ自生地保護活動委員会 委員長
- ・三重県生物多様性保全アドバイザー

平成4年3月、泉立四日市工業高等学校校長を定年退職。その後三重大学、松阪大学などの非常勤講師を経て、現在は三重県の植物相や樹生の調査・研究に取り組んでいます。また、子どもたちとの野外活動の指導などを行っています。

## 「イヌナシの生育地域一帯の環境を守りたい」というのが大きな願いです。

ここは多度川中流にある多度峡の南側、ため池であるみどりヶ池周辺に自生する、日本で最大級のイヌナシ群落です。  
三重県内では「イヌナシ」と呼ばれていますが、標準和名は「マメナシ」で、野生のナシの仲間です。イヌナシは、「東海丘陵要素」とよばれる伊勢湾周辺を中心に生育する植物で、

イヌナシは、愛知・岐阜・三重の一部にだけ自生する植物の一種です。

## 天然記念物とは

貴重な自然で、学術上の価値の高い動物、植物、地質・鉱物などを、国や地方自治体が「文化財保護法」や条例で指定したものをいいます。

国指定天然記念物のうち、世界的または国家的に特に価値が高いものには、特別天然記念物とされるものがあります。

「天然記念物」三重県教育委員会 HP  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/about/tennen.htm>

